

広報

箕輪町のすがた

“箕輪の今”を毎月お届けします。

今日は、先月に続き「一味ちがう箕輪の子ども」育成事業のひとつ「読育」についての活動やこれまでの取り組みについて紹介します。

次回の箕輪町のすがたは4月25日(土)掲載予定です。

一味ちがう箕輪の子ども ～その2～ 小・中学校の読書で育む子どもの心



平成20年度は、幼児から中学生まで一貫した「一味ちがう箕輪の子ども」育成事業に力を入れ、保育料の減額や図書購入、子育て施設の充実などを図ってきました。中でも「読育」については、図書の購入予算を増やし、子どもたちがより読書に親しみ、読書を通じて深く物事を考えられる力を身につけることや、想像力を豊かにすることを目指し取り組んできました。

箕輪北小学校「読育」の取り組み

箕輪北小学校では、昨年度から「あいさつ・読書・学び合い」を三重点に教育に取り組んでいます。その中の「読書」は、生きる力を養い、人間への信頼感を育むものであります。本の中には子どもの心を豊かに育てる力があります。そして本を読み聞かせることは、双方の愛情を確認できる魔法の力があります、と清水校長は話します。



朝読書の充実

朝の読書時間を十分から二十分に増やし、週三回実施しています。そのうち一回は担任教師による読み聞かせ、ほか二回はボランティア「ふきのとうの会」の読み聞かせや自力での朝読書です。「読み聞かせ」は、子どもたちに質の高い優れた本に巡りあわせる有力な方法です。

家庭でも読書を!

昨年十月から「家庭読書の日」を設け、毎週土曜日は各家庭で二十分間の読書を実施していただいています。その際「家庭読書カード」を配布し、児童の感想と保護者の方にも感想を記入していただいています。



家庭読書カード

これは、家庭内での読書の重要性を促す意識改革としてスタートしたのですが、保護者の感想の中には「知らないうちに(子どもが)一冊読み切っていて驚きました」「家庭読書の日があるため子どもと一緒に本を読む機会ができ、良い気分転換になりました」など、読書について前向きに取り組んでいただいているご家庭が増えてきました。また、PTA講演会では本の大切さやテレビ漬け・ゲーム漬けになる怖さなどを保護

者の方にも分かっていただき、「家庭読書の日」の定着を図っていきたくと考えています。

現代の子どもたちは、家に帰るとテレビ三昧・ゲーム三昧という影響からか、言葉の力が衰え、コミュニケーション能力が弱まっている傾向にあります。本には、美しい豊かな言葉と人生観がたくさんあり、生きることを語っています。本を読むことは愛情表現です。学校だけでなく家庭と手を取り合って、読書の大切さを考え、本の素晴らしさを伝えていきたいと考えています。

本の魅力を子どもにも!! 保護者・地域の応援団へお呼びかけ!!

昨年八月に発足した「ふきのとうの会」(新井かおり代表)は、北小学校の朝読書の時間に読み聞かせをするボランティア活動を行っています。会員は現在十三名で、在校児童の保護者やおおあちゃん、地域の方などが集まり、さまざまな本の読み聞かせに心がけています。そのために、月一回の例会では、読み聞かせの反省点や子どもたちの様子、お勧め本などを情報交換し、活動の質の向上を目指しています。

「ふきのとうの会」代表者で、同校保護者の新井さんは「この会は子どもたちに本を好きになってもらいたいという思いから始まった活動。子どもたちが毎回楽しみにしてくれているようになったことはうれしいです」と、読み聞かせの様子を話します。

また会員の中には、読み聞かせをライフワークとして参加している方もいて、地域の民話や昔話などを読み伝えていきます。

読み聞かせの活動を通じて「本でしか味わえない体験や、せつない・楽しいなどさまざまな感情を知って、これからの人生に役立ててほしいです」と、子どもたちの健やかな成長を応援しています。



「ふきのとうの会」による読み聞かせ

箕輪中学校の読育活動

箕輪中学校の朝は、読書で始まります。朝の一番初めの時間に本を読むことで、落ち着いた一日のスタートがされるようにと、毎朝十分間、一人一冊の本を用意し読書する時間を設けています。

各クラスの学級文庫は五〜六冊常備し、校内の図書館には、昨年町の補助を受け購入した本や地域から寄付された真善美文庫合わせて、一万五千冊が保管されています。

図書館では、司書さんが新着本コーナーや学年ごとの調べ本コーナーを設置したり、図書館前の廊下の壁に、正月・節分・雛祭りなど季節に合わせた装飾を施したりし、利用者が楽しめる工夫を凝らしています。また、新着本などがある時は、手書きの図書館だよりを発行し、図書館の利用を呼びかけています。

春と秋の「読書週間」

年二回、教員からのお勧め本の紹介や、昨年は生徒会の図書委員を中心、クイズ形式の絵本パズル会を企画。クラス・学年対抗で、一冊につき一パーツが与えられ、本を読まない問題が解けないクイズを実施し、図書利用率向上を図りました。

また、読書週間に食育も兼ねて実施した「物語給食」では、本の中に登場する食べ物給食の献立に取り入れたことで、本への関心が高まり生徒らにも好評だったといえます。

担当教諭は「吹き出しを添えたりして本の内容を紹介し、好みの本だけではなく、いろんなジャンルの本を手にとってもらえるよう、今後とも考えていきたい」と話しています。



町では、平成二十一年度も「読育」についてのさまざまな取り組みを支援してまいります。



箕輪町

町ホームページ
<http://www.town.minowa.nagano.jp/>
E-メールアドレス
minowa@town.minowa.nagano.jp
携帯電話用ホームページ
<http://www.town.minowa.nagano.jp/mobile/>

町からのお知らせや身近な話題など...
ぜひご覧ください。

○「MINOWAもみじチャンネル」
● ICT箕輪専用チャンネル(放送日/毎週土~火曜日)
アナログ29ch・デジタル512ch
● ICT1チャンネル(放送日/毎週土~金曜日(火・木曜日を除く))

※この紙面に関するお問い合わせは
総務課広報係まで
電話 0265-79-3111(内線450)
FAX 0265-79-0230
E-mail kouhou@town.minowa.nagano.jp